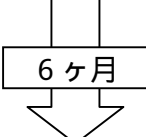
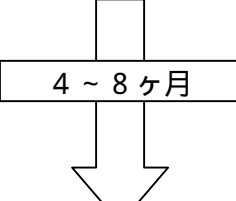
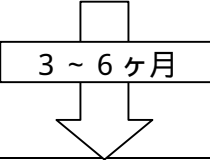
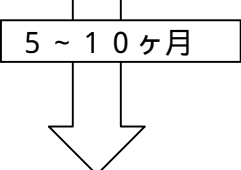
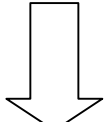


具体策1 流域市と連携したモデル地区での取組による地域防災力の強化 時間軸スケジュール(案)

積極的に集会に参加し、住民の指導的な役割を担う防災専門家として相応しい人材を選定する。(NPO等に運営を委託することも検討)
 モデル地区の設定、第1ステップ、第2ステップまでは、県・市の重点的な支援により、約1~2年間で地域住民参画による取組を軌道に乗せ、水害リスク意識、参画意識を高めていく。
 第3ステップ以降は、地域の実情に基づき自主的な取組を尊重する方針とし、継続的な取組へとつながるように柔軟に対応する。

具体策の項目の時間軸	県の役割等	市の役割等	住民の役割等
(モデル地区の設定)  6ヶ月 尼崎市、西宮市、宝塚市、伊丹市各1箇所が目標	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区の選定に向けた協議・調整 モデル地区への趣旨説明(県・市) 意見交換会のシナリオ準備 防災専門家(コーディネータ)の選定 		<ul style="list-style-type: none"> モデル地区での取組を了承(自治会、防災リーダー、消防団等) 地区内で周知
第1ステップ: きっかけづくり 住民参加の意見交換会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 住民の参画意識を高めるため、県、市主導で取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 住民代表(自治会、防災リーダー、消防団等)は、地区内への周知と幅広い住民参画を働きかける。
 4~8ヶ月	【意見交換会実施後】 <ul style="list-style-type: none"> 減災に対する地区のニーズの抽出(意見のとりまとめ) 今後の進め方の調整 地元住民代表等による『住民組織』の設置を働きかける。 災害図上訓練の開催準備(テーマ、シナリオ) 		【意見交換会実施後】 <ul style="list-style-type: none"> 意見交換会開催後の地区内の状況把握 今後の進め方の調整(自治会、防災リーダー、消防団等) 『住民組織』の設置
第2ステップ: 住民意識向上に向けた取組 災害図上訓練(DIG)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主的、継続的な参画意識を高め、県、市主導から地域住民が主、県、市が支援の構図となるよう誘導を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 住民組織メンバーは、地区内への周知と幅広い住民参画を働きかける。
 3~6ヶ月	【災害図上訓練実施後】 <ul style="list-style-type: none"> 今後の進め方の調整 まち歩き、ワークショップの開催準備 		【災害図上訓練実施後】 <ul style="list-style-type: none"> 地区内の状況把握 今後の進め方の調整(住民組織)
防災マップ、手作りハザードマップの作成 <ul style="list-style-type: none"> まち歩き ワークショップの開催 	約1~2年間で軌道に乗せる		
 5~10ヶ月	【まち歩き・ワークショップの開催後】 <ul style="list-style-type: none"> 手作りハザードマップの完成に向けた誘導 状況に応じてワークショップを複数回開催する。 講演会の開催に向けた支援 		【まち歩き・ワークショップの開催後】 <ul style="list-style-type: none"> 手作りハザードマップの完成に向けた取組。(住民組織) 地区内への周知
地区内全住民を対象とした講演会の開催			
 講演会開催後	【講演会開催後】 <ul style="list-style-type: none"> 講演会のとりまとめ 住民アンケートの企画支援 		【講演会開催後】 <ul style="list-style-type: none"> 次のステップに向けた準備 住民アンケートの企画調整
第3ステップ: 実践的施策への展開	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主導で、県、市は住民の取組を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主導で、県、市は住民の取組を支援する。 市は、地区で減災に向けた取組が継続するよう、地区代表と情報共有を図りながら支援を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民組織メンバーは、地区内への周知と幅広い住民参画を働きかけるとともに、自主的かつ継続的な取組が展開できるよう取り組む。
「地区避難所マップ」の作成 (防災マップ、手作りハザードマップの充実)	<ul style="list-style-type: none"> 住民の取組を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の取組を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケートの実施 避難所の調査(民間マンション、市境) 避難経路の屋外掲示の検討 災害時要援護者の一時入所措置体制の整備検討
「避難誘導システム」の策定	<ul style="list-style-type: none"> 住民の取組を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の取組を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者の名簿作成 情報伝達の整備、災害時要援護者の避難体制の検討
防災訓練、防災教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練実施に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練実施に向けた支援 防災教育の実施に向けた学校への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の実施に向けた学校への働きかけ